

上田剛士先生 洛和会丸太町病院 救急・総合診療科部長

2002年名古屋大学卒業。現在は京都市内の小さな病院で、全てを診られる医者になりたいという野望を持ちながら、救急・集中治療・内科病棟・外来・往診をすべて一括して診療するというスタイルで働いています。最大のパフォーマンスを引き出すには、適度な緊張と、思いっきり楽しむこと。職場の笑顔にも自信があります。たまには、苦笑いもありますが。

小淵岳恒先生 福井大学医学部附属病院 救急科 講師兼医局長 (&大番頭)

2000年福井医科大学卒。5年一般消化器外科医として勤務後、寺澤教に入信。家族とERとハンドボールをこよなく愛する男、「ハンドボールバカ」といわれつつ夜勤明けでも練習に参加してます。自称初期研修医・後期研修医教育担当、自分も成長しながら愛情と熱意をもって教育してます！寺澤先生とはじめた 企画を引継ぎ、「明日から使える！」をキーワードに日々面白くてためになる症例をERアップデートのために 集めては仕事をしています。今回もたくさんの症例を準備しております、みんなで楽しみながら知識をアップデートしましょう♪

**今明秀先生** 八戸市立市民病院 CEO

1983年自治医科大学卒業。僻地医療を5年、外科医師を8年行なった。平成10年日本医大救急医学教室へ入局、川口市立医療センター救命救急センターへ赴任する。外傷外科医と救急医の修練が始まった。2004年より 青森県で救急発展途上地域の開発に挑む。三次救急集中治療とERを両立できる救急医を養成してきた。研修医教育と救急医育成に力を入れる。2017年より病院の舵取りを任せられた。

坂本壮先生 総合病院国保旭中央病院 救命救急センター医長

2008年順天堂大学卒。順天堂大学練馬病院救急・集中治療科で救急・集中治療の基礎を学びつつ、西伊豆健育会病院で内科外来、訪問診療にも従事。好きな言葉は“No Passion, No Education!” 全国の研修医と共に熱く学び、刺激をもらいながら自身のモチベーションを維持しています。さあみなさん、ファンタスティックER医を目指して共に学びましょう！

志水太郎先生 獨協医科大学 総合診療医学・総合診療科 主任教授・診療部長

3浪して何とか医者になったものの、その先には数々の挫折と現場での地を這うような修羅の日々が待っていました。総診療界の挫折王決定戦ではきっと決勝まで残れる自信がある僕ですが、その挫折は全て自分の栄養となって、こうしてERアップデートで後輩の皆さんに様々なメッセージを送れる特典で帰ってきました。貴重な休みを使ってご参加下さる皆さんにお役に立てるよう、一生懸命頑張ります。

徳田安春先生 群星沖縄臨床研修センター プロジェクトリーダー 兼 センター長

琉球大学医学部卒。沖縄県立中部病院、聖路加国際病院、水戸協同病院、JCHO本部などを経て、2017年より現職。群星沖縄臨床研修センターは沖縄県内の研修病院アライアンスであり、参加病院は豊見城中央病院、南部徳州会病院、沖縄協同病院、ハートライフ病院、大浜第一病院、浦添総合病院、中部徳州会病院、中頭病院など。ブログ「燃えるフィジカルアセスメント」と「総合診療医からの健康アドバイス」を配信。Twitter@yasuharutokudaで健康情報も発信。

林寛之先生 福井大学医学部附属病院 救急科 総合診療部教授

笑いが絶えない救急総合診療を目指してます。緻密にエビデンスに基づいた診断治療をするのは勿論、患者さんの気持ちを大切に作る共感力の高い医師を目指そう。愛と希望と汗と笑いの後期研修医募集中！海外留学も夢じゃない！合言葉は“Think globally, act locally!”。カナダ医師免許と育児休暇取得が自慢。レジデントノートの連載に目を擦りつつ、体力の限界に挑戦中。今年も最強の講師陣であなただけを迎えます。疑問を何でもぶつけてきてね。セミナー後は「できる医師」に大変身させちゃいます。ではまた沖縄でお会いしましょう！(^o^)/~~~~

箕輪良行先生 みさと健和病院 救急総合診療研修顧問

1979年に自治医大を卒業した医者はUSもCTも、そしてEBMもない時代に離島診療所で心電図だけで働いた「化石のような」記憶があります。数年後にはAIが診断してくれるとなると聞いてもう少し若い皆さんと臨床の現場で楽しみたいと思っています。幼稚園と小学生の孫にDOBBLEで負けないよう秘かに練習しています。融けないうちに南極ツアーに行くつもりです。